

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		コミュニティ指導員配置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	田中政吉
	基本事業	69	生涯学習団体やスポーツ団体の育成			所属班	生涯学習班	(内線)	1504
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市コミュニティ指導員設置規則		
	1	10	5	1	10764		成果優先度評価結果	12	
							コスト削減優先度評価結果	6	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H7 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	コミュニティにおける生涯学習の振興を図るため、コミュニティ指導員5名を配置する。 平成7年4月に、旧西合志町のコミュニティ活動支援のため、5つの各コミュニティに配置された。 当初1コミュニティに1名の配置であったが、須屋地区の人口が格段に多く、生涯学習活動のニーズに応えるべく妙泉寺体育館の建設もあり、学習講座数が増加する須屋地域のコミュニティには平成18年度から2名配置となった。 しかし、機構改革、班制の施行により、妙泉体育館の管理はスポーツの部門とすることになり、コミュニティ指導員の業務の一部が縮小することになったため、20年度からは指導員配置を1名に戻すことになった。
【業務の流れ】	旧西合志地域のコミュニティ単位での各種事業を企画立案し、地域の総合的な公民館活動の振興にあたる。
【主な予算費目】	報酬・報償費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	コミュニティ活動の拠点施設のうち、須屋市民センターは建て替えが実現し、地域のニーズに応えられたが、施設が手狭で老朽化している黒石、野々島の施設改善を要望する声が地域住民から多い。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 須屋・黒石・中央・野々島・合生のコミュニティに各1名の指導員を配置した。	① 須屋・黒石・中央・野々島・合生のコミュニティに各1名の指導員を配置する。
② 各指導員は、コミュニティ活動の企画立案、各講座への指導にあたった。	② 各指導員は、社会教育指導員と連携し、コミュニティ活動の企画立案、各講座への指導にあたる。
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
⇒ ア 指導助言のための勤務日数 日 イ	⇒ ア 人口 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 各コミュニティ活動に参加する市民が、より良い活動ができるようになる。	⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
	⇒ ア コミュニティ自主団体数 団体
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 各コミュニティ活動をより活発に行えた実績数を設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 日		1,080	900	900	876	900	900	900
⑤ 対象指標	ア 人		28,500	29,000	29,000	31,016	31,116	31,216	31,316
⑥ 成果指標	ア 団体		未集計	28	31	144	146	148	150
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	6,181	5,170	5,180	5,109	5,185	5,185
	(A) 事業費計	千円	6,181	5,170	5,180	5,109	5,185	5,185	5,185
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30	30	30
	(B)人件費計	千円	119	120	119	119	119	119	119
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,300	5,290	5,299	5,228	5,304	5,304	5,304

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	0
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0

事務事業名	コミュニティ指導員配置事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

各コミュニティ事業の推進を図ることができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	低下		△	△
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○	△														
	低下		△	△														
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																		